

報告事項1 平成30年度事業報告に関する件

平成30年度 一般社団法人全日本愛鯉会事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

※ 全 般

平成30年度は事業計画に基づき各担当部の主導によって実施されたほか、全日本総合錦鯉品評会への出展協力による広報活動や魚病飼育冊子製作など、国内外愛鯉家に対して全日本愛鯉会の存在を高める取り組みが行われた。

第54回国際錦鯉品評会は北陸地区を中心とした会員の尽力により新潟県小千谷市に於いて開催され、国内外の出品者および取扱者からの協力を得て多大な成果を収めた。

1. 組織の運営に関する事項

- (1) 定時総会・理事会・定期部会・公認審査員会等諸会議は、計画どおり開催された。
- (2) 会員数の状況は、国内会員740名・国外会員1,043名、総数1,783名（前年度比+78名）であった。会員構成比は、国内42%・国外58%となった。

国内においては、通常会員39名の新再入会者を得たものの、総合的には前年度より45名の減となった。支部・分会で楽しめる地域活動を奨励し、継続的な課題として若い愛鯉家を育てることが急務である。

国外の会員数は、過去20年間において1,000名前後で増減を繰り返してきた。平成30年度の増加の理由としては、国外の経済的好況とメディア媒体を通しての錦鯉への関心が高まったことによるものと考えられる。

2. 品評会に関する事業

- (1) 第54回国際錦鯉品評会

期日：平成30年11月9日（金）～11日（日）

場所：新潟県小千谷市「小千谷市総合体育館」

担当：北陸地区

協賛：全日本錦鯉振興会

後援：文化庁・新潟県・小千谷市・新潟日報社・NHK新潟放送局・BSN新潟放送・NST・TeNYテレビ新潟・UX新潟テレビ21

本品評会の成果	出品者数	327名	(国内	208名	・国外	119名)
	出品尾数	1,500尾	(国内	1,247尾	・国外	253尾)

3. 調査・研究に関する事業

- (1) 飼育魚病研究会の開催

平成30年度は独自開催の飼育魚病講演会は行わず、全日本錦鯉振興会主催の第50回記念全日本総合錦鯉品評会中に開催された各セミナーへの協力を行った。

4. 普及並びに指導に関する事業

(1) 本部主催審査研修会等の開催

期 日	場 所	内 容	参加者
6月17日	富山県魚津市 魚津商工会議所	・60~70部大正三色5尾による評価 *名越養鯉場協力	47名
9月16日	新潟県小千谷市 大日養鯉場	・80部銀鱗紅白3尾による評価 *大日養鯉場(株)協力	鑑賞審査部員 その他17名
2月2日 ~3日	東京都大田区 東京流通センター	・50~55部大正三色5尾による評価 *丸堂養鯉場協力	112名
各地区委託審査研修会		・各地区等により研修鯉設定	本部統一様式報告

(2) 公認審査員補考試を平成31年2月2日に東京流通センターにて実施した。

受験者 国内2名、国外4名

(3) 冊子「錦鯉の飼育と病気対策」を制作した。

5. 社会奉仕に関する事業

(1) 地域施設への錦鯉寄贈、各地の公共施設池や河川等の清掃奉仕、また小中学校での錦鯉を通しての日本文化啓蒙活動が各支部有志により行われた。その中でも、「三木市細川町豊かな町づくり推進協議会および別所公春まつりへの協賛活動」と「防府天満宮鯉池への錦鯉奉納および清掃活動」を活動推進委員会の表彰対象とした。

(2) 冊子「錦鯉の飼育と病気対策」を各支部を通じて配布をすることとした。

6. 国際交流に関する事業

(1) 海外支部等の要請に応じて、次のとおり審査員・指導講師等の派遣を行った。

期 日	派遣先品評会名等	派遣審査員等 (敬称略)
4/7~8	第11回北加支部	田中昭次
4/8	第37回AKAバンクスタウン支部	会長賞のみ交付
4/28~29	第1回カロライナ支部	会長賞のみ交付
4/28~29	第25回KLANドイツ支部 インターコイ2018	斉藤昌治
5/12~13	第11回アジアカップ・コイショー	中島正章・上田正裕・田中昭次

5/18～19	第 26 回南アフリカ支部	会長賞のみ交付
5/20	第 41 回 KSA 支部	キティポン・アライサマツト
5/27	第 28 回西オーストラリア支部	会長賞のみ交付
6/10	第 18 回香港支部若鯉	玉木成美
6/23～24	ベルギー支部 2018	会長賞のみ交付
6/30	シンガポール支部 2018	山崎美左治・藤井清吾
7/27～29	第 38 回ノースウエスト支部	会長賞のみ交付
8/18～19	第 26 回オランダ支部	山田幹洋・高橋健彦
9/8～9	第 25 回ポトマック支部	中島正章
9/8～9	第 14 回マレーシア支部	元田富男
9/15～16	第 1 回フランス・コイショー (友好クラブ)	会長賞のみ交付
9/15～17	第 16 回ノーザンミッドウエスト支部	会長賞のみ交付
9/21～22	第 6 回トライステート支部 2018	会長賞のみ交付
11/17～18	第 3 回台湾錦鯉文化節 2018 (フォルモサ支部)	山田幹洋・林豊廣
12/8～9	台湾国際錦鯉品評会 2018 (台湾地区)	玉木成美・岩本康生
1/11～12	第 33 回香港支部	北川學・長尾昭一・中山雅幸
3/15～17	第 45 回南加支部	会長賞のみ交付
3/16～17	第 1 回ベトナム品評会 (友好クラブ)	上田正裕・田中昭次

※品評会の開催 23 回
 ※審査研修会の開催 3 回
 ※会長賞のみ交付 10 品評会
 ※審査員講師等派遣数 のべ 22 名(13 品評会)

7. 出版に関する事業

(1) 「日鱗」(和文・英文)を毎月発行した。

※処務の概要

1. 役員に関する事項

平成 31 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	就任年月日	担 任 職 務
理 事 (会 長)	中 島 正 章	平 25.6.9	代表理事 公認審査員会会長
理 事 (副 会 長)	北 川 學	同上	業務執行理事・会長補佐 公認審査員会副会長 活動推進委員会委員長
理 事 (専務理事)	山 崎 美左治	同上	業務執行理事・会長補佐 本部事務局の掌理
理 事 (常務理事)	元 田 富 男	同上	業務執行理事・会長補佐 国際部担当・東海地区長
理 事 (常務理事)	平 賀 富 弥	平 26.6.15	業務執行理事・会長補佐 品評会事業部担当・鑑賞審査部副部長
理 事 (常務理事)	山 田 幹 洋	平 27.6.14	業務執行理事・会長補佐 国際部長・中国地区長
理 事	鷹 野 義 男	平 25.6.9	飼育魚病研究部担当・北陸地区長
理 事	沢 村 昌 彦	平 27.6.14	鑑賞審査部長・品評会事業部副部長
理 事	上 田 正 裕	同上	総務担当・鑑賞審査部副部長 近畿地区長
理 事	田 中 昭 次	平 28.6.5	国際部副部長
理 事	野 地 英 司	平 29.6.17	総務部副部長・東北地区長
理 事	平 田 潤 一	同上(再任)	飼育魚病研究部長・鑑賞審査部副部長 関東地区長
理 事	小 西 弦	同上	総務部長
理 事	林 豊 廣	同上(再任)	出版部長・鑑賞審査部副部長 九州地区再生委員会委員長
理 事	植 木 幹 彦	同上	飼育魚病研究部副部長 九州地区長・九州地区再生委員会委員
理 事	森 尻 孝 雄	平 30.6.18	品評会事業部長
監 事	三 上 彌 六	平 25.6.9	定款第 24 条の職務
監 事	白 坂 大四郎	同上	同上

※ 北川學副会長は平成 31 年 4 月 7 日に逝去されました。

物 故 者 (敬 称 略)

東京都支部会員	大林 修
福井県支部会員	山口 昭彦
愛知県支部会員	清水 勲
三重県支部会員	北川 學
三重県支部会員	橋本 忠久
広島県支部会員	吉郷 陸弥
KLAN ドイツ支部会員	ディエトマー・ハネン
KLAN ドイツ支部会員	ルイ・ヴァンローゼル

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

4. 役員会等に関する事項

(1) 理 事 会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
<p>5/ 19～20 (第28回) 於：東京</p>	<p>1. 第6回定時総会日程・会場について</p> <p>2. 第6回定時総会提出議案について</p> <p>(1)平成29年度事業報告(案) (2)平成29年度計算書類(案) 貸借対照表及び正味財産増減計画書 公益目的支出計画実施報告書 (3)平成30年度事業計画・予算書</p> <p>(4)補充役員に関する事項</p> <p>3. 本部会員の異動について</p> <p>4. 海外友好クラブの承認</p>	<p>○前回理事会において既に承認済みである第6回定時総会の日程について確認が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6回定時総会： 平成30年6月16日14:10～15:40 魚津商工会議所研修室 ・第29回理事会： 平成30年6月16日16:00～18:00 魚津市 ホテル・グランミラージュ <p>○原案のとおり総会報告が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○年次監査での公益目的出計画に関する所見に基づき、社会奉仕事業として魚病冊子作成のため60万円を費用計上とすることが提案され、承認された。中島会長より、若年会員の発掘のためのジュニア会員制度や活動活性化を目的とした幼魚品評会の開催検討を次世代へ向けた事業として盛り込むことが提案された。その他は原案のとおり総会提案が承認された。</p> <p>○林理事より、総会資料の配布先について質問がなされ、事務局長より、社員である本部会員全員への配布としているが、会員更新時期にあたるため、一部見込み会員にも送付しているとの回答がなされた。</p> <p>○関東地区長平田理事より、補充理事候補として、関東地区より栃木県支部の森尻孝雄氏が推薦されたことが報告され、全員異議なく理事候補として承認した。また、関東地区に関しては、桜支部が存続不能となったため支部を廃止するに至った事が報告された。</p> <p>○本部会員について下記の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認5名： 石黒 徹(福島)・鈴木誠三(福島)・市川勝國(東京)・山端則行(東京)・森 泉(岡山) ・通常会員への異動6名 ・退会4名 <p>○下記の海外の鯉クラブが友好クラブとして承認された。</p>

	<p>5. 委員会その他報告事項</p> <p>(1)公認審査員審議会の結果報告</p> <p>(2)表彰審査委員会の結果報告</p> <p>(3)台湾地区について</p> <p>5. その他</p> <p>(1)第 55 回国際錦鯉品評会について</p> <p>(2)部編制について</p> <p>(3)会員について</p> <p>(4)総会質問について</p> <p>(4)海外支部関連事項について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム友好クラブ ・フランス友好クラブ <p>○公認審査員審議会の結果が報告された。(結果内容については、公認審査員審議会の会議結果の項を参照)</p> <p>○第 6 回定時総会時での被表彰者が下記のとおり報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日鱗賞：横山惇（福島） ・協力者表彰：阪井健太郎（阪井養魚場） ・功労者表彰：齋藤文志郎（新潟） ・国際展担当地区表彰：近畿地区 ・会員増強：辻田岳洋（三重） 神行武彦（兵庫） ・会員更改 100%：三重県支部、兵庫県支部 ・部活動表彰：山田幹洋（国際部） ・模範支部表彰：山口県支部、香港支部 <p>○台湾の 4 支部が統合されて台湾愛鯉支部となり、新しい台湾地区長として洪金文氏が就任したことが報告された。海外の地区長には任期 2 年とした委嘱状を交付することが了承された。</p> <p>○中国地区長山田常務より、2019 年秋に開催予定の第 55 回国際錦鯉品評会について、会場を山口市やまぐちリフレッシュパークとし、日程は 11 月 8～11 日を予定していることが報告された。</p> <p>○山崎専務より、理事の退任と補充に伴い部編制の変更が提案され下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品評会事業部長：森尻孝雄（6 月の理事就任後より） ・品評会事業部副部長：岸本史郎（兵庫）、 玉木成美（山口） ・出版部副部長：大木信義（山形）、 川上俊雄（千葉） <p>○平田理事より、沖縄県と和歌山県支部所属となっている 2 会員について、活動が埼玉県内であることから埼玉県支部の会員として認めて戴くよう要望が出された。所属支部は隣接都道府県を原則としているが、事情を鑑み特別措置として認めることとした。</p> <p>○平田理事より、前年の第 5 回定時総会で出された質問事項への対応について質問が行われた。中島会長より、前回の総会で回答を約束した事項については第 6 回総会において対応する予定であることが述べられた。</p> <p>○国際部長山田常務より、国内外を問わず品評会への審査員参加は個人間ではなく、必ず双方の支部代表者間で行うものとしているが、</p>
--	---	--

	<p>(4)九州地区について</p>	<p>海外支部への周知連絡について質問が行われた。事務局より、すでに日鱈3月号に通達として掲載し周知を凶った事が回答された。また、審査員として要請を受けても、審査員個々人で返答等をしないことが確認された。</p> <p>○林理事より、梁康民公認審査員の審査行為停止処分について質問がなされた。事務局より、本人への通達に加え、規定にあるとおり日鱈誌とウェブサイト上の審査員リストで公告された事が回答された。これにより、現在、同会員は愛鱈会関係品評会の審査はできない事が確認された。</p> <p>○山崎専務より、海外からの愛鱈会支部主催でない品評会の審査依頼に対しては、事前に本部に報告して戴き、また個人的な繋がりでの要請に応じる事は慎んで戴きたいと注意が行われた。林理事は、特に中華系品評会では愛鱈会の役職肩書きや公認審査員の権威などを利用する傾向があるので注意が必要と付け加えた。</p> <p>○山田常務より、海外支部品評会への審査員派遣については、全要請に応じられておらず、会として何らかの対策が急務であるので、再度、公認審査員に対してアンケートを行い、打開策を検討したい旨の提案が行われた。これを受け、公認審査員を対象にアンケートを実施することとした。</p> <p>○現在、九州地区では福岡県、長崎県、大分県の3支部だけのうえ、福岡県は支部長が不在で活動が行われていない事が報告された。中島会長より、九州地区においては福岡県支部の立て直しが不可欠であり、また、九鱈会との統合問題は各県支部で当時の事情が異なるため、一括りにして対応するのではなく各県の意向を尊重することが望ましいとの提言が行われた。</p>
<p>6/16 (第29回) 於：魚津市</p>	<p>1. 次回以降の理事会開催日程について</p> <p>2. 会員の異動について</p>	<p>○第30回～第32回理事会の開催について、下記のとおり開催することが承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第30回理事会 平成30年9月16～17日 新潟県小千谷市 JAグリーンパーク ・第31回理事会 平成30年11月9日(金) 小千谷市総合体育館 ・第32回理事会 平成31年2月2～3日 東京流通センター <p>○本部会員異動対象者なし</p>

	<p>(2)公認審査員アンケートについて</p> <p>(3)部会報告について</p>	<p>田理事より、子供たちの受け入れに際しては禁煙など最低限のマナーを遵守する土台も大切であるので、国際展会場内では喫煙所以外は全面禁煙とすることが提案され、これが了承された。</p> <p>○ジュニア会員制度については、どのような内容とすべきか未定の段階であるが、総務部長小西理事を中心に次回総務部会で検討をお願いする事とした。</p> <p>○山田常務より、7月に実施予定の公認審査員会・国際部合同アンケートへの協力要請が行われた。田中理事より、海外会員からの研修会協力金の対象者について質問がなされた。事務局より、登録された研修者を含め全員にお願いしているが、昨年開始されたばかりで全員からの徴収には至っていないことが説明された。平田理事より、海外品評会派遣審査員への旅費補助は公認審査員会から拠出しているため、収支によっては公認審査員会会費の値上げ等もアンケートに盛り込む必要があるとの意見が出された。</p> <p>○中島会長は、海外の研修会が審査員申請条件の回数取得の消化に終わっており、審査員の鑑賞力向上および会員増強という本来の目的に立ち返るべきで、今後は本部委託研修会を含めて実のある研修会開催を検討すべきであると述べた。</p> <p>○ディック・トーマスアメリカ地区長と洪金文台湾地区長に対して、地区長委嘱状を交付することが報告された。委嘱の期間は本部理事の任期と併せるものである。</p> <p>○その他の部会報告について理事会了承事項が含まれば、次回の討議とする事とした。</p>
<p>9/17 (第30回) 於：小千谷市</p>	<p>1. 次期以降の回理事会の開催の確認について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第54回国際錦鯉品評会について</p>	<p>○前回理事会で承認された、第31回および第32回理事会日程について確認が行われた。国際展搬入日の理事会については、国際展審査員の承認を主たる議題とする事とした。</p> <p>○本部会員について下記の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認1名：赤畑 浩 (埼玉) ・通常会員への異動なし ・退会2名 <p>○全日本錦鯉振興会の理事長交代に伴い、平澤久司新理事長に大会名誉顧問を引き受け戴いた事が報告された。</p> <p>○事務局より、大会収支予算書の説明が行われ、予算外経費については国際展後の理事会の承認を経て決済することが確認された。元田常務・山崎専務より、国際展の収入に関しては今後スポンサー獲得を視野に入れるべ</p>

	<p>4. 海外支部品評会と派遣審査員への旅費補助について</p> <p>5. 第 55 回国際錦鯉品評会について</p>	<p>きとの提言が行われた。</p> <p>○審査員長として元田富男常務が推薦され、これが了承された。その他審査員および班編成については、鑑賞審査部副部長上田理事より、ビニール袋審査班は若魚班と幼魚班をそれぞれ審査員 2 名の各 1 班とすること、選考された国内審査員 26 名をまず班編成し、その後、に国外審査員を適任班に充てることが提案され、この可否を問うたところ、異議なく承認された。元田常務より、国外の審査員選考に関しては特定の国に偏らない配慮を求める意見が出された。林理事より、1 班に 2 名の国外審査員がいる場合はスムーズな審査進行が難しくなるとの意見が出された。</p> <p>○鷹野理事より各地区の出品目標数が示され、努力目標とした。山崎専務より、本部役員は国際展へは最低 10 尾の出品をお願いしており、今回も同様の出品協力要請がなされた。</p> <p>○その他国際展に関しては、以下の事項が確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイズオーバーには厳正に対処する。 ・賛助会員の参加料無料対象者は 9 月末登録済会員までとする。 ・出品者名義は姓名両方を明記すること、共同名義は受け付けず、1 名の名義とする。 ・締め切り後の変更については、昨年同様に変更前後のそれぞれの出品鯉の、出品料・指定プール・出品区分に変更がない場合に受け付ける。 <p>○平成 30 年度分の海外品評会派遣審査員への旅費助成金については、すでに予算承認済みであるので、予算計画通りの額とすることが確認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域 1 万円 ・欧米地域 3 万円 ・その他遠隔地 5 万円 <p>○山崎専務より、第 55 回国際展に記念大会を冠するかどうかの提案が行われ、全員一致で、冠しない事とした。</p> <p>○中国地区長山田常務より、会場のやまぐちリフレッシュパークの使用については、駐車場をすべて貸切ることから会場全体の借上げとなることが報告された。また、2019 年春の地区展を同会場で計画しているので、国際展の予行演習を兼ねることができると付け加えた。宿泊のオフィシャルホテルは湯田温泉のホテルニュータナカ、懇親会はかめ福で行うこととした。</p>
--	---	--

	<p>6. 報告事項について</p> <p>(1)業務執行報告</p> <p>(2)公認審査員を対象としたアンケートについて</p> <p>(3)その他の報告</p>	<p>○常務以上役員により、平成 30 年 2 月から 8 月までの業務執行状況の報告が行われた。</p> <p>○アンケート結果の概要について説明が行われた。事務局長より、一部の回答に旅費助成を増額して欲しいとの要望がみられたが、予算との関連性もあるため、アンケート結果詳細と共に 2 月理事会で再報告することが説明された。</p> <p>○出版部長林理事より、国際展の出品鯉について種別がわかりにくい鯉については、一部を日鱗誌に掲載する予定であることが報告された。</p> <p>○中国広東省で開催される第 18 回中国錦鯉品評会より審査員派遣要請が行われた事が報告された。これに対して、2018 年 12 月の第 18 回大会へは審査員派遣を行わないこととした。来年以降については、同品評会の主催者より品評会の主旨・参加団体・審査員などの情報を得て結論を出すこととした。</p>
<p>11/9 (第 31 回) 於：小千谷市</p>	<p>1. 第 54 回国際錦鯉品評会の審査員編制について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 報告事項</p>	<p>○審査班の最終編成表の提示が行われ、承認された。名誉審査員長の江島潔参議院議員に出席を戴くことが報告された。また、国際展では会社名義の出品はできない事が再確認された。</p> <p>○本部会員について下記の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 1 名：瀬戸則俊（奈良） ・通常会員への異動なし ・退会 1 名 <p>○全日本錦鯉振興会の全国総合錦鯉品評会が第 50 回記念大会を迎えることから、平澤久司理事長からテナント出店の協力依頼があり、今回はテナント出展に協力して会の広報および国際交流事業とすることが報告された。テナントのフロアで各種セミナーが予定されていることもあり、同時間帯の魚病講演会の開催が難しいことから、独自の魚病講演会は開催せず、テナントでの広報を重視することとした。</p> <p>○広東支部の梁康民会員の公認審査員の審査停止措置に関して、大阪の弁護士法人を通じて質問書が届いた件について、質問状への会からの返答には同様に代理人弁護士を立てて行う事が説明され、これが了承された。また、次回理事会時に本人に対しての聴聞を行い、弁明の機会を与える事を検討中である旨報告された。</p>

<p>2/ 2~3 (第 32 回) 於：東京</p>	<p>1. 平成 31 年度諸会議等開催日程について</p> <p>2. 会員の異動について</p> <p>3. 第 54 回国際錦鯉品評会の結果および収支決算報告について</p> <p>4. 平成 31 年度事業計画・収支予算について</p>	<p>○2019 年度前半の諸会議開催日程について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の監査業務 4 月 19 日 (別府市本部事務局) ・第 33 回理事会等 5 月 11~12 日 (東京都内) ・第 7 回定時総会・第 34 回理事会・ 第 35 回理事会・研修会等 6 月 15~16 日 (山口市湯田温泉) <p>○本部会員について下記のとおり承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認 1 名：川田隆郎 (兵庫) ・通常会員への異動 1 名：福井輝男 (神奈川) ・退会なし <p>○中島会長と山崎専務より、第 54 回国際錦鯉品評会について、国内外から多数の出品を得た事、本部役員全員から 10 尾以上の出品がなされた事に対して謝辞が述べられた。資料に基づき、同品評会の収支計算書について説明が行われ、担当地区である北陸地区関係費については審議のうえ算入額が了承された。中島会長より、国際展に係わる地区経費について毎回論議を生じている事から、振興会新潟地区の協力のもとで開催される小千谷での担当地区経費については、経費規定を作成して対処することが必要であると提案が行われた。まずは事務局で経費規程原案を作成し、理事会で審議することとした。</p> <p>○事務局長より、資料に基づき平成 30 年度分子算執行状況が説明され、単年度の予想収益として約 300 万円を見込んでいる事が報告された。また、今回審議を受ける平成 31 年度の収支予算書は 4 月 1 日からの予算執行に係わるものであり、年度決算後の 5 月理事会にて承認される修正予算が第 7 回総会に報告されるものである事が説明された。中島会長は、決算後の会計監査にて示される公益目的支出計画の数字を反映させて修正予算案としたい旨述べた。4 月 1 日からの業務執行に係わる平成 31 年度予算案および事業計画を全員異議なくこれを承認した。</p> <p>○事務局長より、公認審査員会の平成 31 年度事業計画・収支予算については、前年 7 月に実施されたアンケートにより海外支部品評会派遣審査員への旅費助成金の増額が要望されていたため、公認審査員会予算を鑑み新しい助成額を算定したことが説明された。これにより、海外支部等品評会への参加審査員旅費助成額は下記のとおりとなった。</p>
-------------------------------------	--	--

	<p>5. 海外友好クラブの承認について</p> <p>6. 第 56 回および第 57 回国際錦鯉品評会について</p> <p>7. 報告事項</p> <p>(1)業務執行理事による職務執行状況の報告</p> <p>(2)公認審査員審議会の結果報告</p> <p>(3)品評会事業部会の結果報告</p> <p>(4)総務部会の結果報告</p> <p>(5)国際部会の結果報告</p>	<p>平成 31 年度の海外品評会参加審査員への旅費助成金 (1 名につき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア : 1 万円 ・欧米 : 4 万円 ・夏季のオランダ、南アフリカ : 7 万円 ・ブラジル : 10 万円 <p>○上記の結果を受け、公認審査員会の平成 31 年度事業計画および収支予算案が承認された。</p> <p>○資料に基づき、インドネシアのセマラン・コイクラブについて説明が行われた。元田常務より、インドネシアにはすでに 3 つの支部が存在し、このクラブが支部への昇格を望んだ場合には 4 支部となる場合に生じる支部間の問題について考慮が必要であることが述べられた。セマランコイクラブについては現時点では支障がないとの判断から、友好クラブとして全員異議なくこれを承認した。</p> <p>○第 56 回国際錦鯉品評会は東北地区担当により、新潟県小千谷市の開催を目指すことが確認された。関東地区長平田理事より、第 57 回国際展については、関東地区担当で検討中であり、開催場所として千葉県成田市のタニ養魚場が候補に挙げられている事が報告された。</p> <p>○常務以上役員により、平成 30 年 9 月から平成 31 年 1 月までの業務執行状況の報告が行われた。</p> <p>○公認審査員審議会の結果が報告された。(結果内容については、公認審査員審議会の会議結果の項を参照)</p> <p>○後日、書面での提出報告とした。</p> <p>○総務部長小西理事より、ジュニア会員については会費の一部を徴収するヤング会員のような制度ではなく、次世代の会員育成の投資と考えて、小中高校生 (18 歳未満) に錦鯉に触れてもらうような支援が望ましい、との部会討議結果が報告された。この報告を受けて、次段階としては各支部単位で実施可能なジュニア・サポーターの具体案を検討戴く事とした。</p> <p>○国際部長山田常務より、前日のインターナショナル・ミーティングでは、審査員申請に必要な研修会について毎回来日して研修会を受けるのは負担が大きいため、地元在住の公</p>
--	--	---

	<p>(6)活動推進委員会および支部長会の報告</p> <p>(7)その他の報告</p>	<p>認審査員による研修会開催実施などの要望が出された事が報告された。中島会長は、海外会員は研修内容よりも審査員申請のための参加ポイントを得る事を第一しており、研修会の中身の充実が重要であると意見を述べた。田中理事より、公認審査員の申請要件である本部委託（オフィシャルの）研修会を毎年、海外のいずれかの地域で開催して欲しいとの要望も出された事が付け加えられた。山崎専務は、海外での本部委託研修会についてはこれまでの開催による問題点を洗い出し、実施方法および派遣講師についても考察し、内容の深い本部委託研修会にする必要があるとの意見を述べた。これを受けて、事務局でこれまでの研修会の資料を作成することとした。</p> <p>○北川副会長より、平成 30 年度の活動活性委員会表彰の対象として下記の 2 事業が支部長会で選考されたことが報告され、全員異議なくこれを承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県三木市細川町豊かな町づくり推進協議会および別所公春まつりへの協賛活動 ・山口県防府市の防府天満宮鯉池への錦鯉奉納と清掃活動 <p>○第 55 回国際錦鯉品評会の特別賞品種が「やまぶき黄金」に決定したことが、中国地区長山田常務より発表された。</p> <p>○飼育魚病研究部長平田理事より、各地でコイヘルペスの発症が報告されていることから、日鱗誌上においても注意喚起に努めたいとの報告がなされた。</p>
<p>2/2 (第 32 回) 於：東京</p>	<p>理事会での聴聞</p>	<p>○第 32 回理事会において、広東支部梁康民会員の公認審査員としての登録停止に関して、本人への聴聞を実施した。</p>

(2) 監 査

期日・場所	監 査 事 項	結 果
<p>4/20 於：別府</p>	<p>1. 平成 29 年度収支決算並びに業務全般について</p>	<p>○収支決算書に加え、平成 25 年度決算より内閣府への提出が義務付けられている公益目的支出計画実施報告書の監査が実施された。計画では 2020 年 3 月 31 日までの終了である。</p> <p>○別府市にある本部事務局建物の一部修繕処置が提言された。</p>

(3) 総 会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6/16 (第6回) 於：魚津市	1. 平成29年度事業報告に関する件 2. 平成29年度計算書類承認に関する件 3. 平成30年度事業計画及び予算に関する件 4. 役員の新補充に関する件	○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○事業計画及び予算の内容が報告された。 ○関東地区より選出された森尻孝雄会員（栃木県）が補充役員として承認された。任期は平成31年（令和元年）の総会までとなる。

(4) 公認審査員会総会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6/16 (第6回) 於：魚津市	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度収支決算について 3. 平成30年度事業計画及び予算について	○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○事業計画及び予算書が報告された。

(5) 公認審査員審議会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
5/19 於：東京	1. 審査員の登録取消について 2. 審査員の資格認定について 3. 名誉公認審査員の理事会への推薦	○登録取消 ・名誉公認審査員 1名 ・公認審査員 3名 ・公認審査員補 2名 ・地方公認審査員 6名 ○公認審査員の認定 3名 田中 広信（青森県） 岩本 康生（山口県） 羅 樹鈞（香港） ○地方公認審査員の認定 3名 石黒 徹（福島県） 鈴木 誠三（福島県） 山端 則行（東京都） ○名誉公認審査員の推薦 なし
2/2 於：東京	1. 審査員の資格認定について	○公認審査員補の合格認定 5名 栗 武照（岡山県） 廣田 勉（京都府） 蔡 錦三（台湾楊梅） Chalermopol Tawatchraporn (タイ TKKG) Lim Poh Chai (マレーシア) ○地方公認審査員の認定 3名 川田 隆郎（兵庫県） 瀬戸 則俊（奈良県）

	2. 名誉公認審査員の理事会への推薦	Andre Le Roux (南アフリカ) ○名誉公認審査員の推薦 なし
--	--------------------	---

(6) 公認審査員会役員会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5/19 於：東京	1. 第6回公認審査員会総会の開催日程・場所について 2. 第6回公認審査員会総会への提出議案について (1)平成29年度事業報告 (2)平成29年度収支決算 (3)平成30年度事業計画及び収支予算報告	○原案のとおり日程・場所が承認された。 ○原案のとおり報告事項が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。 ○原案のとおり報告事項が承認された。

(7) 部 会

期日・場所	部 会 名	主 な 協 議 事 項
6/17 於：魚津市	総務部	・若年会員の獲得について、 ・賛助会員について
	品評会事業部	・第54回国際錦鯉品評会について ・出品品種の間違いについて
	国際部	・海外会員の審査員資格について ・海外品評会への審査員派遣について
	飼育魚病研究部	・国内外の魚病の動向について
9/16 於：小千谷	鑑賞審査部	・国際展審査要領の確認 ・ビニール袋鯉用の簡易検寸ゲージについて ・部員を対象とした実物審査研修会の実施
2/2 於：東京	総務部	・ジュニア・サポーターについて
	品評会事業部	・第54回国際展小千谷大会の反省 (指定ビニール袋について、鯉の検寸ゲージ等) ・第55回国際展大会について (日程と会場、申込期間等)
	出版部	・部会は招集せず、魚病冊子について意見聴取
	国際部	・海外会員との交流及び意見聴取 (研修会制度、国際展補助員、審査員の申請要件)

(9) 委員会等

開催会名	回数	開催会名	回数
常務以上役員会	5回	表彰審査委員会	1回
役員候補選考委員会	1回	地区長会	5回

(10) 特別委員会

委員会名	委員	活動内容
活動推進委員会	北川 學 (委員長) 長尾 昭一 玉木 成美	社会事業活動の調査 支部長会と連動し活動推進委員会表彰の選定
九州地区再生委員会	林 豊廣 (委員長) 植木 幹彦 皆川 芳信	九州地区内会員の動向